

ラテン・アメリカ経済に関する文献解題

——国際連合ラテン・アメリカ経済委員会関係資料を中心にして——

まえがき

国際連合ラテン・アメリカ経済委員会(United Nations Economic Commission for Latin America; ECLA)の主たる任務は、すでに紹介した他の地域経済委員会と同様に、ラテン・アメリカ地域における経済開発の諸問題に対し特に関心を保ち、経済開発促進のための統合政策の形成、発展に寄与することである。委員会の諸活動は、ラテン・アメリカにおける経済活動の水準を向上し、域内諸国間および世界各国との経済関係を強化するよう計画される。また付加的機能としては域内の技術援助計画の遂行に関し国連経済社会理事会を援助するという機能がある。その活動においては委員会は活動の重複をさけるため、国連における他の諸機関、専門機関(Specialized Agencies)、その他適当な諸機関との協力を保っている。

委員会設置当初は事実に基づくインフォメーションをほとんど利用することができなかった。そこでまず地域全体および域内諸国の経済状態に関するデータを収集する努力がなされた。加盟各国の経済の特徴、所得水準、資源分布、外国貿易の構造などを説明するための委員会事務局による広範囲な調査は各国政府が経済政策をたてるうえに大きな役割を果たしたが、これらの調査はまた経済開発の予測に関する委員会の活動にとってもいわばその出発点となったのである。経済開発の研究により将来の発展のための条件や手段がさらに詳細に分析されたが、これらの研究は同時に経済の特定部門に対しても行なわれた。すなわちそれらの潜在的成長が各国および地域全体の資源という見地から評価された。委員会加盟各国政府はこれらの研究に注目し、経済開発の諸問題を解決するためには共同のアプローチが必要であるということをしだいに理解してきた。ECLA事務局は経済統合の問題および共同市場の可能性についての調査を依頼された。中央アメリカ経済統合の構想は1952年から進められており、また共同市場への動きは最近とみに活発さを増してきている。そしていまや委員会の中心活動は後者の問題すなわち共同市場の問題を扱うことである。

以上がECLAおよびその事務局の目的である。ここから出される資料はECAFEなどの場合よりは少ないが、信頼度の高い国連資料として高く評価されている。本稿では現在までに刊行されている関係資料の簡単な解題を行なうことにする。

なお資料の所在を示すためつぎの略号を用いる。国図……国立国会図書館、ラ協……ラテン・アメリカ協会、外図……外務省国連委託図書館、国広……国連東京広報センター、国協……日本国際連合協会、ア研……アジア経済研究所。当研究所では下記出版物はすべて予約済みである。

I ECLA 関係出版物

ECLAの出版物には年刊の*Economic survey of Latin America*。さらに最近では半年刊の*Economic bulletin for Latin America*、それと経済開発研究シリーズ、域内貿易を特に強調した貿易報告、主要産業の研究、中央アメリカ経済統合計画に関するものおよび各委員会の事業に関連して作成される報告書など多数の資料がある。

(a) 経済の現状

カレントな問題に関するECLAの活動は主として年刊の*Economic survey of Latin America* (1948年創刊、現在1959年版65まで刊行)に集められている。

- (1) *Economic survey of Latin America*. 1948— . New York [etc.] United Nations Dept. of Economic Affairs. (United Nations. [Document] E/CN. 12) Issued with the United Nations publications sales numbers. English ed. and Spanish ed. (国図、ラ協、外国、国広、国協、ア研)

これはラテン・アメリカ地域全体および主要諸国における経済情勢、経済的条件を考察したもので、一般に年間の生産・農業・工業・鉱業・エネルギーにおける諸変化の分析を含み、また外国貿易の発展を明らかにし、輸出入および国際収支に関するインフォメーションを提供している。そのほか簡単な時事解説も含まれる。近年域内諸国の大半が国民所得および生産の概算を示すことが可能となり、貿易面での諸変化を一國の経済に関して算

定することもできるようになった。そしてここに含まれる統計資料の収集、作成およびその体系的な説明は、ラテン・アメリカの経済事情の理解に寄与し、多方面においてすぐれた資料として利用されている。

各号ともにこのようなテーマを取り上げているが、新しい特徴といえ、1956年版が第2部で戦後1946年から54年までの国家の歳入・歳出を分析していること、1956年版が戦後におけるラテン・アメリカ各国の輸入の受容力に関する問題、中近東危機が中南米の石油供給に与えた衝撃の問題を扱っていることであろう。

Economic survey の補完となるのは ECLA 事務局の *Economic bulletin for Latin America* (1956年創刊、半年刊、現在 Vol. 5, no. 2: Sept. 1960 まで刊行、ただし Vol. 5, no. 2 は統計特集号なので本年は3冊60刊行の予定) である。

(2) *Economic bulletin for Latin America*. Vol. 1, no. 1—; Jan. 1956—. New York [etc.] United Nations Dept. of Economic Affairs. (United Nations. [Document] E/CN. 12) Issued with the United Nations publications sales numbers. English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協, 外図, 国広, 国協, ア研)

この新しい定期刊行物は、当面の経済開発の特定の側面に関する記事で構成されているが、その基本的な目的は域内の経済情勢の要約を備え、*survey* に掲載されたインフォメーションをアップ・ツー・デイトにすることである。また *survey* とのギャップを補うための統計資料をも備えている。各号に掲載されるこれらの記事とは別に、ラテン・アメリカの経済における種々の問題——たとえば共同市場、商品などの問題——を扱った特別の記事もみられるが、これらは理論的記述、方法論的記述である場合が多い。

(b) 経済開発

ECLA はラテン・アメリカの経済開発および生活水準の向上のために努力を集中してきた。そして特殊な問題の研究に加えて、委員会および事務局は経済開発の過程を分析してきた。長期的な経済情勢および開発計画の体系的な研究の必要は当初から委員会および事務局によって強調されており、広範な分析研究が欠除していることから、まずこの問題およびこれに関連する諸問題を調査研究することが必然的となった。その研究の成果として出版されたのがつぎの報告である。

(3) *Economic development of Latin America and*

its principal problems. Lake Success, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1950. 59 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/89/Rev. 1) “United Nations publications. Sales no.: 1950. II. G. 2” English ed. (国図)

これはラテン・アメリカの経済開発問題に関する試論で、現在の ECLA 事務局長であるラウル・プレビッシュ (Raúl Prebisch) 教授により作成されたものである。ここではドル不足、資本形成、インフレーションの過程などの経済開発の研究が体系づけられている。同じ問題は *Economic survey, 1949* でも取り上げられていた。

経済成長の問題を扱った研究はつぎのものである。

(4) *Problemas teóricos y prácticos del crecimiento económico*. Naciones Unidas. 44 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN. 12/22) “Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1952. II. G. 1” Spanish ed. only?

これはラテン・アメリカにおける経済開発の諸問題に対する理論的な説明および実際の解決策の詳細な研究であり、この分野でのその後の分析の基礎をつくり、経済開発計画技術をさらに進歩させたが、各国政府はこの問題に対して非常な関心を示している。

多くの研究および報告はその初期の段階からしたいに各国の経済開発計画に適用しうるようにつぎの研究シリーズ (現在8冊) である。

(5) *Analyses and projections of economic development*. 1. An introduction to the technique of programming. New York [etc.] United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1955. 52 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/363) “United Nations publications. Sales no.: 1955. II. G. 2” English ed. and Spanish ed. (ラ協)

これはブラジル、コロンビア、ボリビア、メキシコ、アルゼンチンなどの各国の開発展望を行なっているが、これら各国別研究のすべてが計画立案技術にかなった方法論を適用し、各国の特殊な状況に合うよう必要に応じて調整された。これは経済開発を現段階に導いた諸要因の評価のための手段を明らかにし、将来の成長の可能性および成長を生ぜしめる諸条件の見直しを行なっている。

(6) *Analyses and projections of economic development*. 2. The economic development of Brazil.

New York [etc.] United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1956. 165 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/364/Rev. 1) "United Nations publications. Sales no.: 1956. II. G. 2" English ed. and Spanish ed. (国図, 外図, ラ協)
 各国別シリーズの最初のもので、ここでは計画技術が特定国ブラジルに適用されている。ブラジルに関するこの研究は、計画の骨子となる全部門のうちの一般的なものを扱い、輸送、輸出、燃料需要、公共部門の財政活動、エネルギー需要、コーヒーの問題も研究されている。

(7) Analyses and projections of economic development. 3. The economic development of Colombia. New York [etc.] United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1957. 454 p. (United Nations [Document] E/CN. 12/365/Rev. 1) "United Nations publications. Sales no.: 1957. II. G. 3" English ed. and Spanish ed. (ラ協, 外図)

この報告は上述の特定国に関する方法論的研究の続きであり、こういう研究が経済開発計画に備えて有用であるということを示した重要な結論である。コロンビア経済の歴史的発展および現状の特徴、消費財・資本財の需要および将来の必要性、投資面・生産面での融資、金融政策および経済政策などを詳細に分析している。

(8) Analyses and projections of economic development. 4. The economic development of Bolivia. New York [etc.] United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1958. 301 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/430/Add. 1/Rev. 1) "United Nations publications. Sales no. 1958. II. G. 2" English ed. and Spanish ed.

ボリビア経済の一般的諸問題を論じつつ、この研究は、国民所得および投資、外国貿易、インフレーションおよび経済開発におけるその効果、経済開発の諸問題および将来などを詳細に論述している。

(9) Analisis y proyecciones del desarrollo económico. 5. El desarrollo económico de la Argentina. México, Naciones Unidas Departamento de Asuntos Económicos Sociales, 1959. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN. 12/429/Rev. 1) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1959. II. G. 3" Spanish ed. English ed. scheduled for publication.

(外図)

この報告は、アルゼンチン経済の隘路として低い生産性と輸入能力の縮小を指摘し、経済成長率の低下はこの2つの悪循環によるものであるとしている。なおこのシリーズは第27, 28回国連経済社会理事会の決議にしたがって、00ペルー, 01パナマ, 02サルバドルの順で刊行された。03は04の準備報告として1955年5月の第8回EC LA総会に提出されたドキュメントである。

(10) Analyses and projections of economic development. 6. The industrial development of Peru. Mexico, United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1959. 323 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/493) "United Nations publications. Sales no.: 1959. II. G. 2" English ed. and Spanish ed. (国広)

これはペルー政府の招待によってECLA事務局が作成した産業開発全体の可能性に関する報告である。本報告は「ペルーの国家経済全体との関連における産業」、「産業の現状と諸問題」、「産業開発の将来」の3部からなる。ここで強調されているのは一国の経済での各部門の役割および産業開発が他の経済部門にもたらす効果ということである。本報告のなかでは現在の産業の効率および技術が示され、生産拡大の必要および人力その他の要素の必要が強調されている。

(11) Analyses and projections of economic development. 7. The economic development of Panama. Panama City, 15 Apr. 1959. 497 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/494) (国図, 国広)

これは1945年から56年までのパナマの経済開発から説きおこし、66年までのパナマ経済の総合計画、個別計画を詳細に述べている。

以上のシリーズとは別につきの研究も出版された。

(12) El Desarrollo económico del Ecuador. Naciones Unidas. 218 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN. 12/295) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1953. II. G. 5" Spanish ed. only.

これは、エクアドルの経済情勢の諸問題の研究に加えて、農業、鉱業、燃料、工業、エネルギー、金融の問題を扱っている。

経済開発に関する活動は、関係諸国政府との密接な関係および協力によって行なわれてきたが、これらの研究に含まれているデータのほとんどは、ECLAスタッフによる現地調査および政府機関・民間機関の代表者とのインタビューとから得られたものである。この分野での活

動としては米州機構 (Organization of American States) の招きで作成されたつぎの報告がある。

- (13) International co-operation in Latin American development policy. New York, United Nations, 1954. 147 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/359) "United Nations publications. Sales no.: 1954. II. G. 2" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協)

これは1954年12月リオデジャネイロで開かれた米州機構全米経済社会理事会 (Inter-American Economic and Social Council) 第4回臨時総会の蔵相・経済相会議のために作成されたものである。この報告は2部に分かれ、第1部はECLA事務局の準備報告であり、経済開発政策における国際協力の役割を考察し、基本的な経済問題の分析を広く行なっている。第2部はECLA事務局によって指名された準備会の報告と勧告であり、専門家の諸見解を発表してある。ここでは経済開発のための資本の必要および直接民間投資あるいは国際的な金融機関による借款を通じての国際金融の諸方法について関心がよせられている。またラテン・アメリカの企業家に対する借款の必要が強調され、金融専門機関の創設が示唆されている。その後この問題をさらに検討するために専門家の委員会が任命された。なおこの出版物にはつぎの邦訳がある。

外務省欧米局第3課訳、『ラテン・アメリカ開発政策における国際協力』、昭和31年、194ページ (米3資料第85号) (ア研)

海外投資に関しては(14)、(16)の研究も出版されている。

- (14) Foreign capital in Latin America. New York, United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1954. 164 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/360; ST/ECA/28) "United Nations publications. Sales no.: 1954. II. G. 4" English ed. and Spanish ed. (ラ協)

これはラテン・アメリカ各国における海外投資の型とこれら各国の法的・経済的・財政的性格に関してその状態を説明している。この研究は国連経済社会局 (Dept. of Economic and Social Affairs) がECLAとの協力のもとに作成したものである。なお水源開発研究に関しては(10)が出版されている。

(c) 産 業

経済開発との関係に加えて、ECLAはさまざまな経済部門での問題の解決促進を目的としている。これに関連

して産業、エネルギー、農業、貿易の諸分野でのECLAの活動は経済開発促進の機能と密接につながっている。

- (15) Labour productivity of the cotton textile industry in five Latin-American countries. New York, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1951. 293 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/219) "United Nations publications. Sales no.: 1951. II. G. 2" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協)

この研究は工業生産性を測定し、これを高度の工業国の経験による標準と比較し、それに関連する諸要因を分析するためにラテン・アメリカにおいてなされたもので、この種の研究としては最初の試みである。ここに含まれる5カ国はブラジル、チリ、エクアドル、メキシコ、ペルーである。

このように綿紡績産業の研究に始まったこの分野での活動は、パルプ・製紙工業、鉄鋼産業、その他の金属産業へと続けられた。そして出版されたのがつぎの2つの報告である。

- (16) Possibilities for the development of the pulp and paper industry in Latin America. New York, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1954. 142 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/294/Rev.2) "United Nations publications. Sales no.: 1953. II. G. 2" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協)

これはECLA事務局およびFAOによって作成されたもので、アルゼンチン、ブラジル、中央アメリカ、チリ、コロンビア、キューバ、エクアドル、メキシコ、パラグアイ、ペルー、ベネズエラにおける生産能力、消費、森林資源に関する討議をまとめたものである。

- (17) Study of the iron and steel industry in Latin America. New York, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1954. 2 v. (United Nations. [Document] E/CN.12/293/Rev.1, ST/TAA/Ser. C.16) "United Nations publications. Sales no.: 1954. II. G. 3" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協)

ひとたびこのような基礎的な研究がなされると、ECLA事務局は国連技術援助計画 (United Nations Technical Assistance Program) と協力してこれらの問題の専門家の会議を招集した。そして共通の問題を討議し、産業化された諸国の代表と容易に意見の交換ができるようにした。鉄鋼に関するこのような会議は1952年ボゴタで開か

れ、19カ国から117名の専門家が参加して技術報告を作成した。1956年サンパウロで開かれた会議では、この活動を一步進めて鉄鋼加工産業に関して討議が行なわれた。これにはラテン・アメリカ各国および世界各国からさらに多くの技術者が参加したが、その結果はつぎの書名のもとに出版された。

(18) Problems of steel making and transforming industries in Latin America. New York, United Nations, 1957. 2 v. (United Nations. [Document] E/CN. 12/425, ST/TAA/Ser. C/24) "United Nations publications. Sales no.: 1957. II. G. 6" Vol. 1, English ed. and Spanish ed.; vol. 2, Spanish ed. only. (国図, 国広)

これは2巻に分かれ、第1巻は国連およびブラジル金属協会 (Associação Brasileira de Metais) の主催のもとに開かれたこの会合の報告書および勧告で、ラテン・アメリカにおける自動車産業の発展に関する短い研究も載せている。第2巻は溶鋼炉、製鋼における酸素の利用、鋼鉄製品、一般には使用されない鋼鉄の圧延および仕上げに関する専門家の技術報告であり、このうち、討議のいくつかに関しては要約を含んでいる。なおこの報告の第1部にはつぎの邦訳がある。

ラテン・アメリカ協会訳、『ラテン・アメリカにおける製鉄業の諸問題』、昭和34年、165ページ (ラテン・アメリカ協会資料11号)、(ア研)

ラテン・アメリカにおけるパルプ・製紙工業を扱ったこの種の会議は、1954年ブエノスアイレスで開かれた。これはECLA、国連技術援助計画およびFAOの共同主催で開かれたが、その会議の議事録はつぎの報告に含まれている。

(19) Pulp and paper prospects in Latin America. New York, United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1955. 465 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/361/Add.1; FAO/ETAP No. 462/Rev.1; ST/TAA/Ser.C/19/Rev.1) "United Nations publications. Sales no.: 1955. II. G. 4" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協, 外図)

これには議事録のほか、ラテン・アメリカ、北アメリカ、ヨーロッパの専門家による作業報告も含まれている。この産業の重要性は、ラテン・アメリカの紙の広範な未開発資源および地方産品のもたらすかなりの外貨保有量という点にある。実際的な活動はさらに「ECLA/UN/FAOパルプ・製紙諮問委員会」の設置という方向に

進んだ。これは関係国の要請によって各国の計画を研究し、各国政府に助言をしようとするものである。いままでにその対象となったのはアルゼンチン、チリ、ブラジル、パルー、メキシコの各国である。

(d) エネルギー

エネルギー部門での包括的な研究はつぎの出版物に含まれている。

(20) Energy in Latin America. New York [etc.] United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1957. 268 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/384/Rev. 1) "United Nations publications. Sales no.: 1957. II. G. 2" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協, 国広)

この研究は、経済開発に関係したラテン・アメリカにおけるエネルギー供給の問題を詳細に調査している。拡大するラテン・アメリカにおけるエネルギー需要に応じるためには、エネルギー産出に十分な投資が必要であることを示している。また種々のエネルギーの現在の生産および消費、利用資源およびその利用効率などを扱うのみならず、1965年までに予想される需要・供給およびラテン・アメリカにおけるエネルギー政策のための基盤をも扱っている。

エネルギーの諸問題はまた各国の開発研究に関連して扱われ、また逐刊の *Economic survey* のなかでも取り上げられている。委員会は最近、水力資源の利用の問題を強調するようになり、この問題に関する第1回研究報告もまもなく刊行されることになっている。これはラテン・アメリカのいくつかの国のエネルギーの研究を追求するものであるが、委員会はまた核エネルギーの開発を慎重に研究している。なおこの報告にはつぎの邦訳がある。

ラテン・アメリカ協会訳、『ラテン・アメリカのエネルギー事情』、昭和34~35年、3巻、(ラテン・アメリカ協会資料20, 26, 27号) (ア研)

(e) 農業

農業の問題は委員会およびその事務局によってたえず調査されてきたが、年刊の *survey* の大半も域内諸国の農産物および全般的な農業開発の分析に費やされている。FAOとは当初から協力してきたが、その初の成果はつぎの出版物であろう。

(21) Agricultural requisites in Latin America; report of joint ECLA/FAO Working Party. New York, United Nations Dept. of Economic and

Social Affairs, 1950. 156 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/83/Rev.1) "United Nations publications. Sales no.: 1950. II. G. 1" English ed. only. (国図)

これは ECLA/FAO 共同作業部会により作成されたもので、域内農業に影響をおよぼす地理的・経済的その他の要因の調査であって農業機械、肥料、殺虫剤などの必要事項の討議も含まれている。

この作業部会について1954年に ECLA/FAO 共同農業計画が発足した。その成果はつぎの出版物にあらわれている。

(22) The Selective expansion of agricultural production in Latin America. [New York] United Nations, 1957. 69 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/378/Rev.2) "United Nations publications. Sales no.: 1957. II. G. 4" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協, 外国)

これはラテン・アメリカの農業における諸条件とその開発の見通しの研究である。それらは特に経済開発全般との関係においてとらえられている。また最も重要な商品に関する国家政策の効果および余剰農産物に対するラテン・アメリカの寄与の問題も扱っている。

(23) Coffee in Latin America. 1. Colombia and El Salvador. New York, United Nations, 1958. 144 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/490) "United Nations publications. Sales no.: 1958. II. G. 4" English ed. and Spanish ed. (国図, 外国)

これはラテン・アメリカにおけるコーヒー産業研究シリーズの最初のものである。コロンビアとサルバドルの国家経済におけるコーヒーの役割について論じ、この2カ国におけるコーヒー産業の生産性および長期計画に対する諸問題に特別の関心をよせている。本年12月このコーヒー産業シリーズの2号として6)ブラジル編が刊行されるが、コーヒー生産はラテン・アメリカの数カ国にとっては重要であるから、この問題に関する活動はいままも続けられている。ECLAはまた1952年に中央アメリカ農業金融セミナー(Central American Seminar on Agricultural Credit)にFAOと共同参加したが、その報告はつぎの書名で出版された。

(24) Memoria del Seminario Centroamericano de Crédito Agrícola. México, Naciones Unidas, 1954. 3 v. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN.12/305) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de

venta: 1953. II. G. 1" Spanish ed. only. (ラ協)

第1巻は一般的結論、第2巻は域内諸国における農業金融の調査、第3巻は域内諸国における農業金融に関する立法を扱っている。

ラテン・アメリカ諸国の経済における農業の役割は、すでに紹介した個々の開発研究のなかでも詳細に分析されている。

(f) 貿易

貿易の拡大はECLAの主要な任務の1つであった。この仕事が始まったのはちょうどECLAの創製期であり、第2次大戦が招いた混乱により正常な貿易経路が引き裂かれてしまったところである。ラテン・アメリカ諸国において、国民の消費および産業の建設活動のために諸製品の需要が増大していることから戦後の貿易構造も変化し、これを研究することも必要となった。この問題に関する初期の研究は、ラテン・アメリカとヨーロッパとの貿易関係もアメリカ合衆国との関係と同様に扱っている。

(25) A Study of trade between Latin America and Europe. Geneva, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1953. 117 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/225) "United Nations publications. Sales no.: 1952. II. G. 2" English ed., French ed. and Spanish ed. (国図, ラ協)

これは ECLA 事務局, ECE, FAO によって作成された。この研究は過去50年間のラテン・アメリカとヨーロッパとの貿易を全般的に調査したもので、ラテン・アメリカ諸国からの輸入、およびラテン・アメリカ諸国への輸出の経過とその構成の詳細な分析からこの問題を調査している。

近年、ラテン・アメリカ諸国間の貿易の型およびその障害は委員会にとってますます興味ある問題となってきたが、このことが特に重要であるのは、新しい系列の生産の発展によって、これまで域内全商業取引引きのうち比較的少量と考えられていたこのような貿易が強化される可能性が生じたからである。域内貿易を構成するのが限られた産品、主として諸原料、第1次産品であるということに加えて、関税規制や輸送の困難などの諸要因がその拡大を妨げた。この問題に関する3つの研究が ECLA 事務局によって出版された。

(26) A Study of the prospects of inter-Latin American trade (southern zone of the region) New York, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1954. 134 p. (United Nations. [Document] E/CN.

12/304/Rev. 2) "United Nations publications. Sales no.: 1953. II. G. 4" English ed. and Spanish ed. (ラ協)

この報告は第1部は域内貿易構造の調査に関するもの、第2部は域内貿易関係においてあらわれる食料品および工業原料に関するものである。関係諸国はアルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイである。

(27) Study of inter-American trade. New York, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1957. 313 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/369/Rev.1) "United Nations publications. Sales no.: 1956. II. G. 3" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協, 外図)

ラテン・アメリカにおける域内貿易, 商品貿易, 地域全般および各国の貿易政策, 支払い政策, 南アメリカにおける海運の諸問題を扱っている。特に関心のあるところはラテン・アメリカ諸国間の外国貿易管理のための通商協定に言及する章, および為替業務と管理の実際に言及する章であろう。

(28) Inter-Latin-American trade; current problems. [New York?] United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1957. 105 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/423) "United Nations publications. Sales no.: 1957. II. G. 5" English ed. and Spanish ed. (国図, ラ協, 外図)

これは⑧の続きである。ECLA 貿易委員会 (Trade Committee) の第1回会合 (サンチアゴ, 1956年11月19日~29日) の報告を含み, また共同市場および多角的決済方式の設定に関する文書もはいつている。

以上3つの研究で到達した結論は, ラテン・アメリカ共同市場の建設に導くその後の研究の基礎となったのである。

(g) 共同市場および中央アメリカの統合

なが年々わたって作成されたいくつかの研究および報告は, ラテン・アメリカ全体に対し, また各国に対して各国経済の諸側面に関する基本的データを提示するのに役だってきた。そして各国政府は, 委員会その他の会議を通じて一致したアプローチにより共通の諸問題を意識し, これを解決する希望が与えられた。そして域内の諸問題を共通の同意で解決するという認識が各国政府を結びつけ, これらの問題を討議・分析し, 共同活動によって解決しようとした。

1951年の第4回総会で, 委員会はその活動が加盟各国政府に勧告を行なえる段階にまで到達したという見解を明らかにしたが, その後の総会での結論から, ラテン・アメリカ諸国政府はECLAを共同活動のための重要な地域機構と考えるようになった。さらにECLAは国連機関としてのその性格により, 域外との国際経済関係を結ぶことに関し諸国を援助する地位にある。このような状況のもとで, まずたてられた構想が共同市場の設置および中央アメリカの経済統合の活動である。これは現在ECLAの活動における最も重要なものであり, 本年刊行もしくは刊行予定の出版物②, ③, ④はすべてこの問題を扱っている。これらの問題に関する研究は下部委員会や作業部会によって進められていった。そのおもな成果を利用できた出版物によって紹介する。

(29) El Transporte en el Istmo Centroamericano; informe de la misión técnica designada por la Secretaría de la Comisión Económica para América Latina y la Administración de Asistencia Técnica, con la colaboración de la Organización de la Aviación Civil Internacional, e informe sobre el seminario de transporte, celebrado en San José, Costa Rica, del 9 al 20 de junio de 1953. México, Naciones Unidas, 1953. 244 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN.12/256, ST/TAA/Ser. C/8) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1953. VIII. 2" (ラ協)

中央アメリカにおける経済統合は, 中央アメリカ5カ国の各市場が小規模であるところから生ずる諸制約を除去するために計画された手段である。この5つの市場が統合されれば, 現存する自然資源, 人力, 資本が最も有効に使われるような開発計画が進められるであろう。この一般計画の実施を促進するためには輸送, 通信, 電力というような基本的な経済設備の拡大を研究する必要があった。輸送の問題を扱ったこの出版物はその研究成果の1つである。

(30) Nomenclatura arancelaria uniform Cenroamericana (NAUCA) y su m manual de codificación. [México?] Naciones Unidas, 1952. 416 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN.12/420) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1957. II. G. 3" Spanish ed. only. (ラ協)

中央アメリカの経済統合のために, まず自由貿易促進のための基本的な手段および域外諸国に対する単一関税

制度を設ける努力がなされた。これら自由貿易協定の準備活動は、標準関税分類 (NAUCA) の作成および中央アメリカ関税規程草案の作成をもたらした。この報告はこれらの問題を紹介したものである。

- (31) La Integración económica de Centroamérica. Nueva York, Naciones Unidas Departamento de Asuntos Economicos, 1956. 98 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN. 12/422) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1956. II. G. 4" Spanish ed. English ed. scheduled for publication. (ラ協)

これは中央アメリカ経済に起こったおもな変化を調査している。すなわちECLA中央アメリカ経済協力委員会 (Central American Economic Cooperation Committee) によって発案された統合計画に関する経過報告であり、構想の基盤および目的、活動の現状、および産業統合の可能性を扱っている。

- (32) La Política tributaria y el desarrollo económico en Centroamérica. Nueva York, Naciones Unidas Departamento de Asuntos Económicos, 1957. 152 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN. 12/486) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1957. II. G. 9" Spanish ed. only.

この報告書は経済開発の項に入れてもよい。中央アメリカの共和国の租税制度について利用しうるインフォメーションをすべて含んでいる。これら各国の租税構造は、所得税、不動産税、輸出入税、外国商社に対する租税待遇などの問題を特に考察しながら分析されている。またこれは経済開発促進という見地から中央アメリカの租税制度改革の可能性の問題も取り上げている。

- (33) Compendio estadístico centroamericano. Nueva York, Naciones Unidas Departamento de Asuntos Económicos, 1958. 180 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN. 12/487) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1958. II. G. 8" Spanish ed. only.

この報告書は国連統計部 (Statistical Office) および技術援助局 (Technical Assistance Administration) の協力によってグアテマラ統計局で作成したものである。これは中央アメリカ諸国の主要な統計シリーズを複製したもので、中央アメリカ経済統合計画のもとで続けられている統計調整活動に対する貢献は高く評価される。

- (34) Report of the Central American Economic Co-

operation Committee. New York, United Nations Dept. of Economic Affairs, 1959. 72 p. (United Nations. [Documento] E/CN. 12/492; E/CN. 12/CCE/151) "United Nations publications. Sales no.: 1958. II. G. 3" English ed. and Spanish ed. (国広)

この報告書は、中央アメリカ諸国の経済統合を促進するための委員会およびその下部機関によって着手されたいくつかの活動を含み、1958年7月の委員会第5回総会で調印された協定の原文が収録されている。これらは「中央アメリカの自由貿易および経済統合に関する多数国間条約」(Multilateral Treaty on Free Trade and Central American Economic Integration), 「中央アメリカの産業統合に関する協定」(Agreement on the résumé for Central American integration industry), 「中央アメリカの道路交通に関する協定」(Central American agreement on road traffic), 「中央アメリカの道路交通標識および信号に関する協定」(Central American agreement on uniform road signs and signals) である。なおこれらの協定のいくつかについてはつぎの邦訳がある。

ラテン・アメリカ協会訳、『中米の自由貿易および経済統合に関する多数国間条約ならびに中米の産業統合に関する協定』, 昭和34年, 50ページ, (ラテン・アメリカ協会資料14号)

- (35) Informe del Comité de Cooperación Económica del Istmo Centroamericano. Nueva York, Naciones Unidas Departamento de Asuntos Económicos, 1957. 51 p. (Naciones Unidas. [Documento] E/CN. 12/431) "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1957. II. G. 7" Spanish ed. only.

中央アメリカ経済協力委員会報告であり、統合計画のなかで進められた諸活動が回顧されている。すなわちそれらの計画を完全に実施するために国連および専門機関によって与えられた技術援助に関する解説がなされている。

- (36) The Latin American common market. New York, United Nations Dept. of Economic and Social Affairs, 1959. 146 p. (United Nations. [Documento] E/CN. 12/431) "United Nations publications. Sales no.: 1959. II. G. 4" English ed. and Spanish ed. (ラ協, 国広, ア研)

これは共同市場の問題に関する研究およびこれまでの委員会の報告などを集録したもので、この問題を知るうえにはかっこうの資料である。共同市場および多角的決済方式、ラテン・アメリカの経済開発における共同市場

の影響、自由貿易地域など興味あるテーマを取り上げて
いる。なお本報告の第2章にはつぎの邦訳がある。

「ラテン・アメリカの経済発展に及ぼす共同市場の
影響」、『世界政治経済資料』144号、1960年7月、
3～47ページ（ア研）

II ECLA 関係ドキュメント

United Nations review の本年5月号に“ECLA
meeting stresses growing economic cooperation in
Latin America”という記事が掲載された。これは本年
3月チリのサンチャゴで開かれた第7回全体委員会の模
様を紹介したものである。当研究所で受け入れたECLA
関係ドキュメントのほとんどがこの全体委員会のものな
ので、ここではこの記事の内容を追いつつながらドキュメン
トを解題していくことにする。

昨年におけるラテン・アメリカ共同市場設置問題の進
展は、経済社会理事会に提出するECLAの*annual report*
のなかで強調されている。この*report*は当研究所ではま
だ受け入れていないので詳しいことはわからないが、上
述の記事によれば、1959年5月のECLA総会以来の目標
達成のためになされた活動を明らかにし、特にラテン・
アメリカ自由貿易連合(Latin American Free Trade
Union)の結成への道を開いたECLA事務局の活動をた
たえている。

(37) Progress report by the Secretariat on the
common market programme. 15 Mar. 1960. 47
p. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.
45/3)

(38) Latin American common market; resolution
adopted at the second meeting, on 28 March 1960.
28 Mar. 1960. 2 p. (United Nations. [Document]
E/CN.12/AC.45/17)

この2つは上述の共同市場構想の経過報告およびその
採択に関するドキュメントである。(37)は現在まで委員会
によってなされてきた共同市場の組織に関する活動の大
要である。1958年2月チリで第1回ECLA共同市場作業
部会(Working Group on the Regional Market)が開
かれ、「ラテン・アメリカ共同市場の構成と基本原則に関
する勧告」(Recommendation concerning the structure
and basic principles of the Latin American regional
market)、いわゆるメキシコ・レポートが発表され、ついで
1959年5月パナマで開かれた第2回ECLA貿易委員会
(Trade Committee)で共同市場に関する共同提案が採択
された。しかし決議案は抽象的なものに終わり、今後の
専門家グループによる会議の成果が期待されたが、本年

2月のモンテビデオ条約(Montevideo Treaty)の調印に
よってラテン・アメリカ自由貿易連合が設置され、ここ
に共同市場構想に対するECLA事務局の努力は実ったの
である。

アルゼンチン、ブラジル、チリ、メキシコ、パラグア
イ、ペルー、ウルグアイによって調印されたこの条約に
よる連合設置に対し、チリのオルトサル外相は全体委
員会の開会の辞のなかで、「アメリカ経済発展の歴史に
おける画期的なできごと」であり、「共同市場設置への
道の第1歩」であると説明している。

オルトサル外相は、城内人口の70%近くを包括し、
ラテン・アメリカの他のすべての地域にも公開されてい
るこの条約が、「漸次地域全体を包括する体制に向かっ
て進展するための手段となっていくであろう」ことを確
信していると述べた。

ドキュメント(37)は、経過報告のほかこの条約の全文
を掲載している。オルトサル外相のこの発言は、会期
中多くの代表の反響および、委員会はついに(38)のなかで
共同市場に関する活動を優先的問題として十分討議し活
動を推進していくよう勧告する決議案を採択したのであ
る。ECLA加盟国のちの非ラテン・アメリカ諸国——フ
ランス、オランダ、イギリス、アメリカ合衆国——もこ
の計画を支持し、これらの努力に共感をもち共同市場が
城内・域外貿易双方を増大することを望んでいる。

(39) Note by the Secretariat on resolutions of the
General Assembly and of the Economic and Social
Council of concern to the Commission. 16 Feb.
1960. 10 p. (United Nations. [Document] E/CN.
12/AC.45/10)

この文書の目的は、第14回国連総会および第27、28回
国連経済社会理事会で採択されたいくつかの決議事項の
うち、ECLA関係のものをECLA事務局がまとめたもの
である。(40)、(41)と合わせてECLAの今後の活動を決定す
るものとして興味ある文書である。

(40) Programme of work and priorities, 1959~60.
28 Mar. 1960. 19 p. (United Nations. [Document]
E/CN.12/AC.45/9)

共同経済の諸問題は、代表団が行なった一般声明のほ
とんどに共通したテーマであり、共同市場構想および
ECLA/TAO advisory groupsの活動には特に関心がよ
せられた。委員会で承認されたこの活動計画は、地域経
済委員会の従来態度とECLAのこれまでの計画から説
き起こしている。活動計画は、(1)経済の現状、(2)経済成
長および計画立案技術、(3)農業経済の諸問題、(4)工業、

鉱業、エネルギー、(5)国際貿易の5部門に分かれ、このうち(3)はFAOとの共同活動になっている。今後のラテン・アメリカにおける経済開発の基本問題を取り上げたものとして重要な資料である。

- (41) Progress report by the Executive Secretary. 8 Feb. 1960. 36 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.45/2)

ECLA第8回総会以来の委員会の活動を事務局がまとめ、今回の全体委員会に提出したものである。下部機関などによる共同市場、中央アメリカにおける工業開発の問題、経済開発における諸側面からの研究活動、専門機関との関係などECLAの活動は多方面にわたっている。

- (42) Information paper on technical assistance provided to countries of the ECLA region under the expanded and regular programmes. 8 Feb. 1960. 25 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.45/5)

この文書は、拡大技術援助計画に参加する諸機関によるECLA加盟諸国への技術援助について述べている。文書のほとんどは1959年の実績を取り上げている。最後に1960年の計画は従来どおりであり増加はしないが、国連特別基金も考慮すれば援助総額はかなり大きくなる見込みであるとむすんでいる。

- (43) Progress report by the Secretariat on the Central American Economic Integration Programme. 8 Feb. 1960. 6 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.45/4)

- (44) Central American economic integration; resolution adopted at the second meeting, on 28 March 1960. 2 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.45/18)

中央アメリカの経済統合に関連して地域的な経済連帯の問題が討議されたが、(43)はその討議のためのドキュメントであり、(44)はその採択のドキュメントである。ここではサルバドル、グアテマラ、ホンジュラスの経済統合促進の努力が報告されている。また「中央アメリカの輸入税その他の課税の平等化に関する協定」(Central American Agreement on the Equalization of Import Duties and Charges)が1959年9月コスタリカのサンホセで調印されたことが報告されている。全体委員会では、域内経済開発に関して満足の意が表明される一方、加盟数カ国はラテン・アメリカの直面する重要な経済情勢に合うよう国家的・国際的な経済開発計画を強化する必要があることを強調した。

- (45) Statement by Mr. Raúl Prebisch, Executive

Secretary, at the inaugural meeting on 28 March 1960. 28 Mar. 1960. 11 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.45/14)

上述のような点に関してプレビッシュECLA事務局長は(45)のなかで、1955年来の人口増加率をかるうじてのぐような域内の経済成長率の続いていることに深い関心をよせている、と述べている。また経済開発を強化促進するために国家的・国際的に強力かつ慎重な歩調をとらないかぎり、「ラテン・アメリカ全域にわたってきわめて明瞭な経済的・社会的緊張は極度に悪化するであろう」と警告している。

プレビッシュ事務局長は、インフレーションの克服に払われた努力をたたえ、それらの努力に対しては経済縮小をさけるために国際的な財政援助がなされるべきであることを強調している。かれはまた軍備縮小構想を支持しているが、この構想はチリの外相が開会の辞のなかで特に発言しているところである。

また討議中、教育技術訓練計画を強化する必要を強調し、ラテン・アメリカの労働力は工業化にも十分応じられることを指摘している。かれはきたるべき25年間にラテン・アメリカの人口が9000万ほど増加し、そのうち2500万は退職者、死亡者の穴埋めをするが、6500万は職を求めなければならず、このことは訓練の必要と同時に生産的な職業を与えるための思いきった努力をしなければならぬことを意味すると述べている。

- (46) United Nations building in Santiago. 5 Feb. 1960. 5 p. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.45/6)

- (46) United Nations building in Santiago, Chile; resolution adopted at the second meeting, on 28 March 1960. 28 Mar. 1960. (United Nations. [Document] E/CN.12/AC.45/20)

委員会はまたサンチアゴの国連ビルディング建設資金の増加に関する報告とこれを決定した国連総会に対し感謝の意を表する決議を行なっている。このビルディングはECLA本部となる予定であり、155万ドルの建設費はすでに国連総会で承認されサンチアゴの近代的な住宅地に建設される。

他のおもな決議事項はつぎのとおりである。西インド諸島連邦および英領ギアナを初のECLA準加盟国として承認したこと(48)、(49)、(50)、中央アメリカ経済協力委員会の活動の継続に関心をもっていることを言明したこと、UNESCOと共同で全米教育経済社会開発会議(Inter-American Conference on Education and Economic and

レファレンス

Social Development)を後援することを決議したこと(4), アフリカの経済専門家および統計専門家の訓練に際し, アフリカ経済委員会とできるかぎり協力するよう事務局に要請したこと(5), (6), ラテン・アメリカにおける輸送問題専門家のセミナーを設置することを確認したこと(7) などである。

- (48) Application by the Federation of the West Indies for admission as associate member of the Economic Commission for Latin America. 11 Feb. 1960. 1 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/AC. 45/7)
- (49) Admission of the Federation of the West Indies as an associate member of the Commission; resolution adopted at the second meeting, on 28 March 1960. 28 Mar. 1960. 1 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/AC. 45/15)
- (50) Admission of British Guiana as an associate member of the Commission; resolution adopted at the second meeting, on 28 March 1960. 28 Mar. 1960. 1 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/AC. 45/16)
- (51) UNESCO proposal for an Inter - American Conference on Education and Economic and Social Development; resolution adopted at the third meeting, on 29 March 1960. 29 Mar. 1960. 2 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/AC. 45/21)
- (52) Note by the Secretariat on co-operation with the Economic Commission for Africa. 15 Mar. 1960. 1 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/AC. 45/12)
- (53) Co-operation with the Economic Commission for Africa; resolution adopted at the third meeting, on 29 March 1960. 29 Mar. 1960. 1 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/AC. 45/22)
- (54) Seminar of transport experts; resolution adopted at the third meeting, on 29 March 1960. 1 p. (United Nations. [Document] E/CN. 12/AC. 45/24)

〔補足〕

本稿締め切り後, 国連本部から最近の国連出版物に関するインフォメーションが送られてきたので, このうち ECLA関係の出版物をえらんでここに書誌的データをつけ加えることとした。

(a) 経済の現状

- (55) Economic survey of Latin America, 1959. New York [etc.] United Nations, Oct. 1960. 275 p. "United Nations publications. Sales no. : 1960. II.

G. 1" Spanish ed. English ed. scheduled for publication.

- (56) Economic bulletin for Latin America. Vol. 5, no. 1-3; Jan. ?-Dec. 1960 New York [etc.] United Nations. 3v. Vol. 5, no. 2 issued as special statistical number. No. 1, English ed. and Spanish ed., no. 2, Bilingual (English-Spanish) ed., no. 3, English ed. and Spanish ed.

(b) 経済開発

- (57) Análisis y proyecciones del desarrollo económico. 7. El desarrollo económico de Panamá. Nueva York [etc. ?] Naciones Unidas, July 1960. 216 p. "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta : 1960. II. G. 3" Spanish ed. only.
- (58) Análisis y proyecciones del desarrollo económico. 8. El desarrollo económico de El Salvador. Nueva York [etc. ?] Naciones Unidas, 1960. 188p. "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta : 1960. II. G. 2" Spanish ed. only.
- (59) Foreign investments study. New York [etc.] United Nations, Dec. 1960. 83 p. "United Nations publications. Sales no. : 1960. II. G. 5" Spanish ed. English ed. scheduled for publication.
- (60) Los Recursos hidráulicos y su aprovechamiento en América Latina. 1. Chile. Nueva York [etc. ?] Naciones Unidas, Sept. 1960. 280 p. "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1960. II. G. 4" Spanish ed. only.

(c) 農 業

- (61) Coffee in Latin America. 2. Brazil. New York [etc.] United Nations, 1960. 130 p. "United Nations publications. Sales no. : 1960. II. G. 6" Spanish ed. English ed. scheduled for publication.

(d) 中央アメリカの経済

- (62) Current problems in Central America. New York [etc.] United Nations, 1960. 64 p. "United Nations publications. Sales no. : 1959. II. G. 5" Spanish ed. English ed. in preparation.
- (63) Progress towards Central American integration. New York [etc.] United Nations, Dec. 1960. 70p. "United Nations publications. Sales no. : 1960. II. G. 7" Spanish ed. English ed. scheduled for publication.
- (64) Los Recursos humanos de Centroamérica, Panamá y México en 1960-1980, y sus relaciones con algunos aspectos del desarrollo económico. Nueva York [etc. ?] Naciones Unidas, Sept. 1960. 160 p. "Publicación de las Naciones Unidas. No. de venta: 1960. XIII. 1" Spanish ed. only.

(図書資料部 桜井雅夫)